



先月は雨の日と晴れの日で気温差があり、子どもたちの体調が心配でしたが、ほとんどの子が元気に登園してくれました。室内では、おままごとやブロックをお友だちと一緒に楽しんでいます。天気の良い日には、戸外で泥団子を作ったり、木の下でアリやダンゴ虫を一生懸命探したりする姿があります。また、テラスで水風船を使って遊んだり、シャボン玉を自分で作って「まてまて～」と追いかけたり、暑さに負けず元気に遊んでいます。

今月はいよいよ楽しみにしていた水遊びが始まります。一人ひとりに合わせて、水の感触や心地よさを体験し、水に親しめるようにしていきたいと思います。また、暑くなると食欲が落ちたり、疲れが出たり、体調を崩しやすくなります。熱中症にも十分注意し、こまめに水分補給と休息をとりながら、健康に過ごせるようにしていきたいと思います。



感触あそびたのしいな～！

毎日、「きょうは、なにしてあそぶの～？」と目を輝かせて聞いてくれるりす組さん。「今日は〇〇遊びをするよ～」と内容を話すと「はやくやりたい！」と興味津々です。初めての寒天遊びや泥遊びでは、手や服が汚れてしまうことに抵抗がある子どもたちでしたが、保育士やお友だちと遊んでいるうちに、汚れてもいいことが分かり、「おだんごできたよ」と両手でギュッと固めたお団子を見せてくれるようになりました。また、寒天遊びでは、握ったり、つぶしたり、切ったりと普段触れない感触に興味津々の子どもたちでした。今後も、もっといろいろな物に触れて遊べるような活動を取り入れていきたいと思います。

自分で！

子どもたちは日々の生活の中で、自分で次の見通しを立てながら行動ができるようになってきています。保育士が「次何するのかな？」と尋ねると「てあらう」と答え自分で行動する姿がどんどん増えてきています。また、お片付けの時間になると保育士の真似をして、「おかたづけだよー！」と大きな声でお友達に教えたり、伝え合う姿も見られます。「じぶんで！」と何でも自分でしようとする姿も更に増えてきました。始めて自分でおしっこに行けた時やおむつ、パンツ、ズボンを自分で履けた時などに「すごいね！自分でできたね！」と沢山褒めていくことで、子どもの自信に繋げていきます。